

東京オリンピック・パラリンピック競技大会における最近の経緯

○3月22日：

- ・ I O Cが、理事会を経て「延期も含めた検討を開始し、4週間以内に結論を出す」方針を表明。

○3月24日：

- ・ 安倍総理・バッハI O C会長電話会談。「中止せず、遅くとも2021年夏までに開催する」方針を合意。I O C理事会で、合意を了承。

○3月30日：

- ・ 森会長・バッハI O C会長電話会談
- ・ I O C理事会 ⇒ 大会開催日程決定

オリンピック：2021年7月23日(金)～8月8日(日)

パラリンピック：2021年8月24日(火)～9月5日(日)

○6月10日：

- ・ I O C理事会開催。大会組織委員会から、大会の位置づけ、原則及び来年の夏までのロードマップについて報告。概要以下の通り。

■ 3つの基本原則

① 安全・安心を最優先 ② 費用の最小化 ③ 簡素（シンプル）化

■ 新型コロナ対策については、秋以降に追加施策を検討。

○7月17日：

- ・ I O C総会開催。来年のオリンピックの詳細な競技スケジュールを発表。

○8月3日：

- ・ 組織委員会から、来年のパラリンピックの詳細な競技スケジュールを発表。
→ オリパラともに、2020年と同一の施設で、同一日程を維持。

○9月4日：

- ・ 国、東京都、大会組織委員会による「東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議」を開催。年内を目途に中間整理を行う予定。

○9月24～25日：

- ・ I O C調整委員会において、簡素化の見直し内容について合意。

○9月28日：

- ・ 大会組織委員会が、来年の聖火リレーの実施概要を公表。
- ・ 実施日程、聖火ランナー等は本年実施予定の枠組みを維持。

○10月7日：

- ・ I O C理事会において、大会組織委員会から現時点における見直しによる削減効果が約300億円となったことを報告。